

二二九三番

咲さけりとも 知らしずしあらば 黙もだもあらむ この
秋萩あきはぎを 見みせつつもとな

二二九四番

秋あきされば 雁かりと飛び越こゆる 竜田山たつたやま 立たちても居ゐて
も 君きみをしそ思おもふ

二二九五番

我わがやどの 葛葉日くずはひに異けに 色付いろづきぬ 来きまさぬ
君きみは 何心なにこころそも

二二九六番

あしひきの 山やまさな葛かつら もみつまで 妹いもに逢あは
ずや 我あが恋こひ居をらむ